

輸送動向について(11月分)

平成19年12月

1. 輸送概況

今月は、中旬に東北地方北部の大雨及び羽越線での強風による輸送障害が発生したほか、東海道線での人身障害事故が発生し、月全体では高速貨94本が運休した。

荷動きについては、中旬までは輸送障害の影響もあり、低調に推移したが、下旬は季節貨物の出荷が旺盛となったこともあり、比較的堅調に推移した。

コンテナ貨物では、一部メーカーの生産設備不調の影響が残り減送となった紙・パルプ及び家電・情報機器が前年を下回ったものの、民間流通米及び北海道地区の野菜類の出荷が好調であった農産品・青果物のほか、専用列車が増発された自動車部品などが前年を大きく上回り、全体では前年比103.7%となった。

車扱貨物では、セメント、石灰石などが前年を下回ったものの、急激な冷え込みによる北海道地区の灯油及び翌月の仕切り価格改定前に揮発油の出荷が強勢となった石油が前年を上回り、全体では前年比101.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,083	2,008	103.7%	15,495	15,352	100.9%
車 扱	1,172	1,159	101.1%	7,961	8,333	95.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	256	236	20	108.5%
	化学工業品	196	192	4	102.1%
	化学薬品	149	145	4	102.8%
	食料工業品	290	287	3	101.0%
	紙・パルプ	319	330	-11	96.7%
	他工業品	164	139	25	118.0%
	積合せ貨物	227	223	4	101.8%
	自動車部品	83	64	19	129.7%
	家電・情報機器	33	36	-3	91.7%
	エコ関連物資	33	31	2	106.5%
	その他	333	325	8	102.5%
	コンテナ計	2,083	2,008	75	103.7%
車 扱	石 油	769	736	33	104.6%
	セメント	73	91	-18	80.7%
	石灰石	67	68	-1	98.4%
	車 両	125	121	4	103.3%
	その他	137	143	-6	95.9%
	車 扱 計	1,172	1,159	13	101.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)